

2019年5月から2020年4月までに 当センターで感染症治療を受けられた方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

研究の名称

FilmArray®Torch 導入が Antimicrobial stewardship team(AST)活動のアウトカム指標および介入状況に与える影響

研究の対象

2019年5月から2020年4月までにAST介入対象となる方

研究の期間

倫理委員会承認後から 2022年3月まで

研究の目的

肺炎や尿路感染症などと言った感染症の治療に用いられる抗菌薬（いわゆる「抗生物質」）は、適正に使用することで感染症治療に有用である一方、不適切な使用により、抗菌薬が効かない「耐性菌」を生み出す原因となることが知られています。耐性菌の増加を抑制するため、抗菌薬の適正な使用を促す事を目的とした抗菌薬適正使用支援チーム(Antimicrobial stewardship team(AST))が各医療機関で組織され、その活動の有用性が報告されています。当センターにおいてもASTが結成されており、日々活動を行っているところです。感染症治療では、原因となる病原菌を特定するための細菌検査が行われます。当センターでは2019年11月より、従来の検査方法より迅速に病原菌を特定することが可能な全自動遺伝子解析装置「FilmArray®Torch」が導入されました。FilmArray®Torchは迅速に感染症を診断し、不適切な抗菌薬使用を減少させることが報告されていますが、本邦におけるASTの活動やその有用性に与える影響を調査した報告は少ないのが現状です。本研究ではFilmArray®Torchの有効性、FilmArray®Torch導入がAST活動状況や抗菌薬使用状況に与える影響を調査することを目的としています。

研究の方法

上記の期間に当センターに入院し、VCM の点滴治療を受けられた方の背景（年齢、性別、身長、体重、入院診療科、入院疾患など）、細菌検査結果、投与された抗菌薬の種類、転帰、在院日数、AST からの提案内容などのデータを電子カルテより収集します。得られたデータを、FilmArray®Torch 導入前後で比較することで、FilmArray®Torch の有効性や AST 活動にどのような影響を与えているか検討します。

研究に使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、入院診療科、入院疾患、細菌検査結果、投与された抗菌薬の種類、転帰、在院日数、AST からの提案内容

研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター薬剤科 瀧川正紀

共同研究者：東京都健康長寿医療センター臨床検査科 浅見諒子

東京都健康長寿医療センター臨床検査科 野口穰

資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

連絡先：東京都健康長寿医療センター薬剤科 瀧川正紀（平日 9:00～17:00）

03-3964-1141（内線：2018）